

選ばれる園にメルマガなるための

株式会社 幼保経営サービス・コンサルティング部



働き方改革とノンコンタクトタイム

令和4年4月に厚生労働省から『保育分野の業務負担軽減・業務の再構築についてのガイドライン・業務改善実践に向けた事例集』が発表されました。保育士として働くことの魅力とやりがいを感じられる勤務環境をどうやって確保していくのか、その方法について具体的な取組事例等がコンパクトにまとめられています。今後の園のアクションプランに採り入れてみてはいかがでしょうか？



参照：厚生労働省

「業務改善実践に向けた事例集(令和4年3月)」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000928266.pdf>

保育分野における業務改善の課題として「ICTの活用」「保育補助者の活用」「記録・書類業務の見直し・工夫」「働き方の見直し」が挙げられますが、ここでは「働き方の見直し」の観点で、『ノンコンタクトタイム』(以下、NCTと記載)について採り上げます。

『NCT』とは休憩時間とは異なり、勤務時間中に担当する子どもたちと関わらずに、事務作業や打ち合わせなどの業務をする時間のことを指します。ここ数年で『NCT』が注目されている背景としては、2018年度から実施されている幼稚園教育要領・保育所保育指針により保育の質の向上が求められていることがあります。

『NCT』導入のメリットは以下の通りです。

NCTのメリットは？

- (1) 保育の質の向上
常に目の前の業務に追われていてはよい仕事はできない。保育内容の振り返り、話し合いの場所として活用することで、新たな発想や職員同士の連携が生まれ保育の質の向上を図ることができる。
- (2) 労働環境の改善
勤務時間内に『NCT』を確保することで残業が減り、心身の負担も軽減される。離職者の抑制効果も期待できる。
- (3) 職員採用時のPRポイント
求職者に働きやすさのひとつとしてアピールできる。



次に、『NCT』導入にあたってのポイントを記載します。

- (1) 「ムリ」「ムダ」「ムラ(=業務配分の偏り)」(3M)の洗い出しと見直しにより、『NCT』に充てる時間を捻出する。
- (2) 30分などの短い時間や比較的余裕のある土曜日から始めてみる等、できることから着手する。
- (3) 『NCT』取得が特定の職員に偏ることないようにルール設定する。加えて、取得状況を可視化することで公平な取得を促す。

NCTのポイント

また、『NCT』時間の捻出のために、更なる「ICT化推進」や「保育補助者の採用」が必要になるかもしれません。その際には活用できる補助金がないか確認することも肝要です。

『NCT』は保育の質の向上に向けた手段のひとつです。手段が目的化することないように留意されて取り組むことで、必ずやよい結果を生むでしょう。

コロナ禍による出生率の減少で、園を取り巻く環境は厳しい環境が続きますが、『NCT』導入で保育の質の向上を図ると共に、職員の皆さんにとって働き甲斐のある明るい職場環境を作っていきたいものです。

チャイルド社では、選ばれる園になるための書籍シリーズとして、どうする、園の「働き方改革」を発売しています。ご興味ございましたら、下記のチャイルドショップにてご注文いただけます。



チャイルドグループ (株)幼保経営サービス コンサルティング部
チーフコンサルタント 宮地 竜巳
HP <https://www.ans.co.jp/youho/consult.html>
お問合せ <https://www.ans.co.jp/youho/postmail/index.html>